

第 7 回佐倉市総合計画審議会 要録

日 時	2019年8月8日（金）15時00分～16時10分
場 所	佐倉市役所1号館 3階会議室
出席者	淡路委員、佐藤委員（会長）、遠山委員、服部委員、石井委員、坂本委員 橋本委員（副会長）、山本委員 （欠席）明石委員、安川委員
事務局	岩井企画政策部長、企画政策課 和田課長、藤崎副主幹、齊藤主査、東城主査補
その他	株式会社ぎょうせい 木戸
議 題	（1）第5次佐倉市総合計画の策定について ① 第5次佐倉市総合計画（案） ② 答申書（案） （2）その他
配布資料	資料 23 第5次佐倉市総合計画（案） 資料 24 答申書（案）
傍聴者	5人

会長あいさつ

本日で最後の審議である。これまでのご指摘を踏まえ、最終案が取りまとまっているので、その内容を改めて確認したい。

（1）第5次佐倉市総合計画の策定について

① 第5次佐倉市総合計画（案）

事務局	<p>資料 23 「第5次佐倉市総合計画（案）」を用いて修正箇所を説明。概要は下記のとおり。</p> <p>第6回総合計画審議会の指摘に対する修正箇所（赤字修正）について説明を行った。市における協議の結果の修正箇所（青字修正）について説明を行った。</p> <p>第7回総合計画審議会資料送付後の指摘に対する修正箇所（赤字）について説明を行った。</p>
委員	<p>○質疑・意見</p> <p>これまでの審議会でも申し上げたことと思うが、歩行者向けの観光振興と道路整備にアンマッチがあるのではないかと。観光に来る人が徒歩で市内を周回して、色々な観光ポイントを巡ってもらうためにも、道路整備に観光の観点があることが重要と思う。観光振興のほうに「観光振興エリアを決めて重点的に回遊性を向上するための道路</p>

	整備をする」などの記載は盛り込めないか。
事務局	現在、産業振興課の方で観光グランドデザインや産業振興ビジョンを作成途中であることから、以前、ここでは明確には記載せず、個別計画の中で対応するとお答えしました。資料 23 の 90 ページに「滞留時間の増加や回遊性の向上を図ります」と記載しているのは、観光グランドデザインや産業振興ビジョンで目指す部分です。道路計画との関係は、確かにここではイメージできていないかもしれません。
委員	書いてあることが大事と思う。どういう施策と対応しているのかというニュアンスがほしい。
事務局	資料 23 の 64 ページの「持続可能な公共交通網の形成を推進します」の中で、「観光振興につながる公共交通も検討する」と明記しています。
委員	道路計画の中で、観光についてのことがイメージされているのは重要だと思っていたので、この記載で表現しきれているかどうか。
事務局	幹線道路整備方針も見直し予定なので、そこに反映できるよう担当課に伝えます。
会長	実施計画の方では分かりやすくしてもらえたら、ありがたい。
事務局	実施計画の中では、整備する道路の路線番号も明示したいと思います。
委員	住宅と住環境を分けていただいたが、この中で将来的に重要なのは、住宅側の整備の課題である。一般論として住宅というのは私有財産なので、公共の政策がテコ入れすることは今までなかったが、佐倉市であるからこそ、そこは重要だと思う。資料 23 の 66 ページに「価値の持続する住宅の整備を推進します」と、住宅の問題を明記するようになった。しかし、まだおそるおそる書いているように見える。佐倉市は住宅がメインの都市なので、流通促進政策を強調するような何かがないといけないと思う。
事務局	基本的には住生活基本計画のもとで、中古住宅のリフォーム支援や近居・同居住替支援事業など、まずは佐倉市に住んでもらうための賃貸の補助等、多様な施策を推進しています。
委員	住宅課が優れた仕事をしていることは認識しているが、さらに推進することを考えてほしい。
委員	以前の審議会で、ハザードマップは作成中とのことだった。実際に佐倉市は河川が多く、浸水地域に一般住宅が入っている状況なのに、計画にはハザードマップについての言及がないのは何故なのか。

事務局	<p>資料 23 の 73、74 ページが該当します。ハザードマップという言葉はありませんが、意識啓発や情報発信の一環という認識でした。防災マップやハザードマップ等を追加し、修正していこうと思います。</p>
委員	<p>将来都市像の中に「変化する社会情勢にいち早く対応し、未来にわたり適応し続けられるまち」という思いが盛り込まれていたり、空き家活用問題に切り込んでいたり、非常に特徴のある中身の総合計画になっていると思う。今後、変化する社会情勢に対して新しい施策に取り組んでいくとき、誰がどうやって取り組んでいくのかという問題がある。どこの自治体でも職員不足が課題になっている。従来の行政事務の効率化などを図っていかなければならない。業務の合理化・効率化・電子化というものを進めない限り、誰が新しい事業を担当するのかという疑問がぬぐえない。</p> <p>資料 23 の 117、118 ページの「行財政運営」で書かれている内容はよいが、例えば「事務管理の適正化」というよりは「必要なところに必要な職員を配置する」とか、「業務の進め方の見直しによって合理化し、業務手順を簡素化することによって、より重要なプロジェクトに人員を配置する」という意味合いが含まれるとよいのではないかと強く思う。また、市民の方が今よりも市役所に来なくてよいシステムを構築することで、その分の業務を違う業務にあてることができるという考え方を「行財政運営」のところにに入れていくべきだと思う。</p>
事務局	<p>行政改革の中でも、市役所に来なくてもすむ方法を考えていくべきだという意見があり、検討しています。また、電子申請もマイナンバーカードを使った手続きの仕組みや電子決済等も検討中です。行政改革の中で具現化していくことを検討していきます。</p>
委員	<p>住宅補助等についても、事務的に簡素化されていない。資料 23 の 117 ページに「行政手続きの電子化の推進においては、高齢者や外国人に配慮した仕組みを構築」とあるが、市民全体に対しても効率化を図ってもらいたい。また、中古住宅を購入したときの手続きの簡素化もしてほしい。</p>
事務局	<p>介護保険制度など、市役所内部で住民票の確認が許容されているものもありますが、市役所内部であっても自由に情報を閲覧できないものも多くあります。法的な問題から簡素化が困難なものもありますが、可能なものから対応していきたいと思います。マイナンバーについても、それを高齢者の方お持ちになることのリスクもあるので、それも含めてどうしていくのかという課題もあり、検討していきたいと思います。</p>
副会長	<p>基本計画ではいろいろな意見を反映していただいたと思うが、これ以上具体的に踏み込んだ記載については難しいことが分かったので、ぜひ実施計画の中に落とし込んでいくことを約束していただきたい。お手伝いすることはやぶさかではないので、これまでの審議会の議論を思い出し、実施計画では実現に向けた具体的な記載をしてほ</p>

委員	しい。 全く同じ意見である。「策定の趣旨」には、市民の連携・協働、地域の人材、資源を活かしながら計画を推進していくと書いてあるので、行政の中だけの計画にとどまらず、市民や団体を巻き込んで計画を推進していただきたい。
事務局	今、いただいたご意見については、答申書の中にもそのような観点を盛り込んでおります。実施計画や個別計画の中で、審議会で委員の皆様からいただいたご意見をきちんと捉えて、事業に取り組んでいきたいと思えます。市の管轄でないことや法律に関わることなど、すぐにできるとはお約束できないものもありますが、引き続き努力をしていきたいと思えます。
委員	一般の市民として、おもしろい発想を持っている個人・団体の方はたくさんいると思う。そういう方々をどこかでまとめていくような仕組みをつくっていただけるようお願いしたい。
事務局	団体間での連携等が課題だと認識しているので、取り組んでいきたいと考えています。
委員	佐倉市で一番問題なのは地域格差があること。志津やユーカーリが丘に対して、和田、弥富などの格差はあまりにも大きい。総合計画だからといって、何でも一元的に行うのではなく、各地域の特徴をつかんだ施策の推進をお願いしたい。
事務局	将来都市像の「佐倉咲く」というフレーズには、委員がおっしゃられたような地域性、地域の実情を踏まえてまちづくりを行っていくという思いを込めました。この将来都市像にそって、佐倉市のまちづくりに努めていきたいと思えます。

(1) 第5次佐倉市総合計画の策定について

② 答申書（案）

事務局	資料 24 「答申書（案）」を用いて修正箇所を説明。概要は下記のとおり。 第6回総合計画審議会において指摘された修正箇所（赤字）を踏まえて事務局より説明を行った。 ○質疑・意見 なし
-----	--

(2) その他

事務局	<p>○委員からのご指摘箇所の修正について</p> <p>先程ハザードマップを追記してほしいという意見があったので、危機管理室と調整し、修正しました。危機管理室からは、ハザードマップは「防災マップ」という名称であるため、表記もそろえてほしいとのことでした。また、市民の防災意識の啓発のため「防災ガイドブック」を配布しており、「防災マップ」とともに活用し、啓発を図っていくという趣旨の追記をさせていただきました。</p>
委員	<p>東日本大震災のとき、千葉県でも液状化の被害があったが、あのときハザードマップは何の役にも立たなかった。専門的な地盤調査をして、ハザードマップを作成しているところは少ない。ハザードマップは、毎年更新しているのか。</p>
事務局	<p>ハザードマップは毎年更新しています。また、県から何か規定などが変更された場合には、その都度更新しています。</p>
委員	<p>作ればよいということではなく、専門度がどの程度上がっているかどうかである。少しずつ予算を投下していかないと、市民が信頼できる、市民がよいと思えるものにならない。</p>
委員	<p>地盤改良は自宅の敷地内はやるが、道路はやらないので、道路の液状化がすごかった。今後、対応を検討いただきたい。</p>

閉会